



区の手続きや施設・イベント案内は
せたがやコール ☎5432-3333

FAX 5432-3100
午前8時～午後9時
年中無休

特集

新・才能の芽を育てる体験学習

～楽しく豊かな体験・体感を将来の夢や希望に～



もくじ



子どもたちの将来の夢や希望につながる さまざまな体験学習講座を開催しています

「新・才能の芽を育てる体験学習」とは、世田谷区教育委員会が主催する、幼児から中学生を対象とした体験学習です。講座では、各界の第一線で活躍する講師を迎えて、普段の授業や生活では経験できない体験学習の機会を提供しています。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、子どもたちの貴重な体験の機会が限られるなか、将来の夢や希望につながる講座に参加してみませんか。

☎ 教育総務課 ☎5432-2745 FAX 5432-3028

【特集】 新・才能の芽を育てる 体験学習	1-3
ユニークな部活動で活躍する 部活動支援員	4
授業の中での異学年の学び	5
児童・生徒の特別表彰	6
ビブリオバトル/ ガリレオコンテスト ほか	7
川場村長への特別インタビュー 外山 京太郎さん	8

次のページで詳しく紹介！

新・才能の芽を育てる体験学習

DOHSCHOOL・ハツメイカー研究所の 「ロボットプログラミング体験講座」

ロボットを全方向に動かせるようにプログラミングできたので嬉しかったです。



家でもできる「アンテナ」という技を教えてもらったので、実践してみたいです。

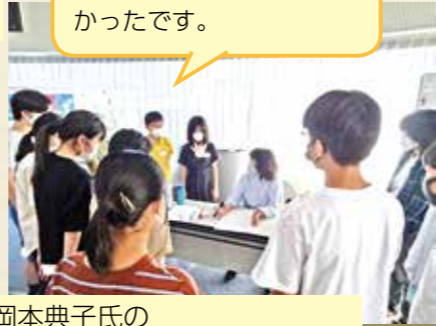
日本大学文理学部 体育学科 水島教授の 「体操講座 ～オリンピック選手のためのはじめての一步!～」

東京農業大学 教職・学術情報課程 武田教授の 「生き物の色の意味を探る! ～アメリカザリガニから始める環境&科学教育 ザリガニSDGs～」



エサの色素が違うだけで、生き物の体の色が変わる話が印象的でした。

オリジナルキャラクターを自分で考えて、描くのは難しかったけど楽しかったです。



イラストレーター 岡本典子氏の 「動物のオリジナルキャラクターを 考えて表現しよう」

日本大学 文理学部 情報科学科 谷教授の 「プログラミング体験講座 ～プログラミングを使って、アニメーションを作ってみよう～」

写真が魅力的で感動しました。僕も写真家になりたいと思いました。

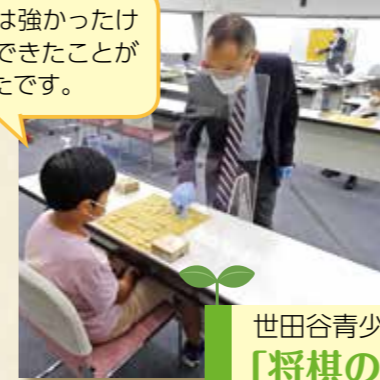


写真家 大竹英洋氏の 「ノースウッズ ～生命を与える大地～写真で人に伝え、共に考える～」



将来の夢や希望をもち、豊かな人生を送れることを願い、講座を開設しています。

プロ棋士は強かったけど、対局できたことが嬉しかったです。



世田谷青少年将棋連盟 島九段の 「将棋の技を磨こう」

東京農業大学 地域環境科学部 大林教授の 「顕微鏡で植物観察」



木材を顕微鏡で見ると、布みたいに穴が大きかったり小さかったりして、びっくりしました。

日常的な身近なところにさまざまな多面体があることを知りました。



東京都市大学 理工学部 応用化学科 江場准教授の 「集まれ! ためんたい◇たんけんたい (多面体探検隊)」

オンライン

東京都市大学 理工学部 原子力安全工学科 松浦准教授の 「明かりはどこから? ～自分だけの街をつかって光らせよう!～」



発電は難しいテーマかと思っていましたが、日常のものでも実験・勉強できるのは意外でした。

大学生が講座のサポートをしています。

日本大学 文理学部体育学科の大学生をお手本にして、体勢をつくります。



東京都市大学 理工学部の大学生がやさしく教えています。



平成16年度から始まった才能の芽を育てる体験学習は、平成29年度、第2次世田谷区教育ビジョンにもとづき、新学習要領を踏まえた学びを活かすつ、5つのテーマ(探求、表現、体力・健康、国際理解、環境)を柱に、「新・才能の芽を育てる体験学習」として新たにスタートしました。令和3年度も各界の第一線で活躍している講師の方々により、楽しく学べる講座内容で、体験学習を行ってきました。

エフエム世田谷「せたがやスクールクルーズ」(毎週金曜日12時45分～13時)にて、実施した講座の様子を紹介しています。

ユニークな部活動で活躍する部活動支援員

世田谷区は、平成18年4月より部活動支援員制度を導入して、保護者や大学生、地域の方々に中学生の部活動の中で技術指導をしていただいています。

今回は上祖師谷中学校の体力向上部、弦巻中学校の鉄道研究部の“ユニークな部活動”で活躍されている部活動支援員の方々に、活動内容や部活動支援員としてのやりがいなどをお聴きしました。

上祖師谷中学校 体力向上部 部活動支援員 熊谷 岳大さん

体力向上部について

体力向上部は卓球部門とエンジョイ部門に分かれて、週3日格技室で活動をしています。70名以上の部員が所属しています。卓球部門では都大会出場を目指して日々練習に励み、エンジョイ部門では、球技やランニングをするなど体を動かすことを中心に取り組んでいます。

部員を指導する際に意識していること

卓球部門では、いいプレーをしたときに声掛けを行い、モチベーションを高めています。エンジョイ部門では、生徒に“楽しく遊ぶこと”ではなく、“遊びを通じて体力向上を図る”を目的に活動することを意識させるようにしています。

部活動支援員になってよかったこと

色々な考えを持つ部員と関わり、部員の考えを理解できるようになりました。その結果、一人ひとりの部員に合わせた指導を行えるようになりました。

《部員・顧問から一言》

体力向上部は、大勢で活動し、協調性を育むことを目的にしています。また、熊谷さんはトラブルの解決、ユニークな筋力トレーニングを教えてください。(部員)

急な会議で参加できない時も、熊谷さんが指導・監督してくれるのでとても助かります。(顧問)



手前が卓球部門、奥がエンジョイ部門の活動風景

弦巻中学校 鉄道研究部 部活動支援員 石原 良さん

鉄道研究部について

鉄道研究部は、11名の部員が所属しています。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で校外での活動が難しいため、教室一面に東京駅から博多駅までの路線をプラレールで再現しました。また、24時間の運行ダイヤを24分に短縮し、その通りに電車を動かしてみました。

部員を指導する際に意識していること

主な活動は事前学習を徹底した上で実施するようにしています。ルールを守り楽しく活動することの大切さを部員に伝えています。

部活動支援員になってよかったこと

部員の成長を間近で見ることができます。1年生の時に、ルールをあまり守れなかった部員が、3年生の時に部長となり、責任をもって行動する姿を見て、その成長がとてもうれしかったです。

《部員・顧問から一言》

鉄道研究部は部員同士で協力して、企画をして実際に活動することができるのでとても楽しいです。(部員)

石原さんは部員に鉄道の専門的な知識を教えるだけでなく、生活面の指導もしてくれるので、不可欠な存在です。(顧問)



東京～博多路線をプラレールで再現

問 生涯学習・地域学校連携課 ☎5432-2739 FAX 5432-3039

授業の中での異学年の学び

中里レインボープラン

授業の中で異学年学習を行っていることが中里小学校の特徴です。

世田谷区立中里小学校の考え

- 異学年で学ぶことによって、他学年・他学級の児童や全校の教職員と関わる場が生まれ、多様な考え方や学び方を身に付けられる。
- 異学年での学びにより、いろいろな先生が子どもたちを受けもつことになり、「チーム中里」として強い体制をつくり、教育活動を行うことができる。

中里ファミリーグループ学習

国語 中里ファミリーグループの分け方

	1	2	3
6年	A君 B君 Cさん	Hさん I君 J君 Kさん	P君 Q君 Rさん Sさん
5年	D君 Eさん Fさん G君	Lさん Mさん N君 O君	T君 U君 Vさん Wさん
4年	6-1 担任		
3年1組 2組	4-1 担任		
2年1組 2組	1-1 担任		
1年	6-1 担任		
担当	6-1 担任		

1・2年生、3・4年生、5・6年生でグループを組んでいる。1グループは、20名程度。

縦割り班ともリンクさせ、児童集会のレクリエーションでは、全学年一緒に活動する。



モジュール（朝学習の時間）で国語の授業を行い、詩の朗読やスピーチ、音読、漢字ビンゴ等に取り組むことで言語への関心が高まり、子どもたちの意欲的な様子が見られました。

生活科



生活科や総合的な学習の時間も中里ファミリーグループで学習しています。1・2年生は「なかざとおんがきたい」、3・4年生は「中里地域・防災」、5・6年生は「中里ワールドツアー」というテーマで学習したことを全校の子どもたちに発表しました。

総合的な学習の時間



このような成果を感じています！

子どもたちの感想

- 「中里ファミリーグループ」では、教員合うことが多く、モジュールや総合的な学習の時間が楽しかった。
- クラスより少ない人数で勉強するから、意見を出しやすい。



先生たちの感想

- 教員同士で協力し合う体制が整った。
- 中里小学校の子どもたちをみんなで見ていることを実感した。
- 担任していないクラスの子供たちについての理解が深まった。

問 教育研究・研修課 ☎6453-1503 FAX 6453-1534

児童・生徒の特別表彰

(令和3年度)

教育委員会では、スポーツや文化活動などの大会やコンクールですばらしい成績を取めた区立学校の児童・生徒を表彰しました。

児童特別表彰 (小学生・個人)			
(1) スポーツ活動 26件			
氏名	学校名	学年	活動内容
水上 翔太	桜小学校	5年	水泳
養田 知之	桜小学校	6年	野球
橋本 香蓮	駒繫小学校	6年	水泳
堀田 彩音	弦巻小学校	6年	水泳
小林 幸太郎	三軒茶屋小学校	6年	空手
登立 理紗	深沢小学校	6年	水泳
佐々木 望花	玉川小学校	4年	空手
荒井 紗乃	尾山台小学校	2年	空手
小河 謙斗	桜町小学校	6年	野球
小林 永真	等々力小学校	2年	空手
長沢 英希	等々力小学校	6年	野球
支倉 蒼待	用賀小学校	5年	野球
谷口 夏音	砧小学校	5年	空手
江間 大登	芦花小学校	6年	レスリング
薬野 相太	芦花小学校	6年	レスリング
近藤 二葉	給田小学校	6年	チアダンス
清水 あんな	給田小学校	6年	チアダンス
清水 しずく	給田小学校	5年	チアダンス
田中 亜実	給田小学校	6年	チアダンス
田中 結	給田小学校	6年	レスリング
村瀬 美月	給田小学校	5年	チアダンス
森 朱里	給田小学校	6年	チアダンス
東 修平	山野小学校	6年	野球
蟹江 陽斗	武蔵丘小学校	3年	空手
蟹江 佑樹	武蔵丘小学校	6年	空手
山崎 慧梧	希望丘小学校	4年	キックボクシング

(2) 文化活動 7件			
氏名	学校名	学年	活動内容
外角 秀仁	旭小学校	1年	作文
徳田 蓮翔	笹原小学校	3年	ピアノ
徳田 海翔	笹原小学校	5年	ピアノ
横山 大志	瀬田小学校	2年	算数オリンピック
糸井 咲絢	用賀小学校	4年	ピアノ
加藤 碧暁	給田小学校	6年	バイオリン
別所 優月	希望丘小学校	6年	書道

児童特別表彰 (小学生・団体)	
(1) スポーツ活動 1件	
学校名	団体名
駒沢小学校・中丸小学校 三軒茶屋小学校・池尻小学校 二子玉川小学校	下馬L.M.C. ジュニアフレンズ (パトントワーリング)

(2) 文化活動 1件	
学校名	団体名
千歳小学校	吹奏楽団

生徒特別表彰 (中学生・個人)			
(1) スポーツ活動 24件			
氏名	学校名	学年	活動内容
小島 莉々愛	太子堂中学校	1年	水泳
鈴木 真翔	太子堂中学校	1年	水泳
大島 統偉	桜丘中学校	3年	水泳
兒島 惟高	桜丘中学校	1年	セーリング
鈴木 小暖	桜丘中学校	1年	なわとび
中野 裕唯	桜丘中学校	3年	サッカー
ヌワエメ グレース	駒沢中学校	3年	陸上
ロス 瑚花アディア	駒沢中学校	3年	陸上
関野 美佑夕	弦巻中学校	1年	水泳
齊藤 真緒	玉川中学校	3年	新体操
三木 心愛	玉川中学校	1年	アーティスティックスイミング
瀧澤 勇仁	瀬田中学校	3年	レスリング
仁王 利樹	瀬田中学校	3年	アイスホッケー
北田 海優	深沢中学校	3年	ソフトテニス
比留間 ほの香	深沢中学校	3年	ソフトテニス
徳田 詩	深沢中学校	2年	水泳
田邊 観世埜	尾山台中学校	3年	新体操
松本 時人	用賀中学校	3年	陸上
荒川 真稟	東深沢中学校	2年	空手
杉末 陽茄	上祖師谷中学校	1年	チアダンス
萩原 陽菜	上祖師谷中学校	1年	チアダンス
井田 雄太	三宿中学校	1年	水泳
大原 健太	世田谷中学校	3年	空手
瀧口 透生	船橋希望中学校	3年	水泳

(2) 文化活動 4件			
氏名	学校名	学年	活動内容
千葉 ひかり	駒沢中学校	2年	科学
黒田 孔	梅丘中学校	3年	百人一首
乳井 美桜	芦花中学校	3年	弁論
野村 京加	芦花中学校	3年	作文

生徒特別表彰 (中学生・団体)	
(1) スポーツ活動 7件	
学校名	団体名
北沢中学校	女子バレーボール部
用賀中学校	陸上競技部
烏山中学校	男子バスケットボール部
砧南中学校	ソフトテニス部 (男子)
砧南中学校	ソフトテニス部 (女子)
船橋希望中学校	水泳部
船橋希望中学校	陸上競技部

(2) その他 (善行) 3件	
学校名	団体名
桜丘中学校	生徒会
富士中学校	3年学級委員会及び3年生徒会役員
砧中学校	I組

☎ 学校職員課 ☎ 5432-2672 FAX 5432-3025

知的書評合戦

人を通して本を知る、本を通して人を知る

第4回 世田谷区立中学校ビブリアバトル

令和4年1月29日(土)に、世田谷区立中学校図書館教育研究部主催の「第4回世田谷区立中学校ビブリアバトル」をオンラインで開催しました。ビブリアバトルは、参加者が自分が読んで面白かった本の魅力を発表し合い、投票で「チャンプ本」(最も読みたいと思った本)を決定します。

今回は、予選に進出した27名が5グループに分かれて予選会を行い、その中で選ばれた5名の生徒たちが本選に進みました。予選も本選も、本のおすすめの部分を用いたり、自分自身のエピソードを交えたりしながら、推薦する本の魅力について、生き活きと個性豊かに表現しました。

予選を通過した5名の皆さんと紹介本

発表者	学校名	紹介本
北沢中学校	美山 結依	「あの花が咲く丘で、君とまた会えたら。」
北沢中学校	佐野 泰次郎	「向日葵の咲かない夏」
用賀中学校	若山 千紗	「ラン」
尾山台中学校	重信 美南	「むかしむかしあるところに、やっぱり死体がありました。」
三宿中学校	田澤 留弥	「カラフル」

チャンプ本「ラン」

私はビブリアバトルに参加して、他の人の発表も聞く事ができ、読みたいと思う本がたくさん見つかりました。これからもっと本を読み、素敵な本と出会いたいです。



☎ 教育研究・研修課 ☎ 6453-1503 FAX 6453-1534



豊かな発想力

夢のある研究発表が盛りだくさん!!

日常生活のふとした疑問

第12回 世田谷ガリレオコンテスト

令和4年1月22日(土)に、「第12回世田谷ガリレオコンテスト」(最終審査)を実施しました。今年度のガリレオコンテストは、例年とは違い、3つのブースに分け、発表後に各ブースで質疑応答を行い、今まで自身で進めてきた研究内容を深めたり、新たな研究に向けての課題や発想が生まれるように発表形式を変更しました。3,160点と多くの応募の中から入賞した9名が研究発表を行いました。審査員からの質問に対し、研究内容について自分の言葉で答えたり、新たな疑問に気づき、さらに研究を深めようとする姿が見られ、充実した研究発表会となりました。

ガリレオ賞 (最優秀賞)	桜丘中学校	阿部 幸嬉	オンライン授業補助システムSMOOZの構築
	駒沢中学校	千葉 ひかり	マスクを安全に取り扱うには?
	上祖師谷中学校	青山 海央	ダンゴムシの研究 Pt 2
アイデア賞 (優秀賞)	砧南中学校	飯塚 悠人	人命救助ロボットについて
	喜多見中学校	和田 拓士	パイナップルをピリピリせずに食べるには
ドリーム賞 (優秀賞)	用賀中学校	伊藤 有香	手洗いうがいには有効か? ～寒天培地による細菌繁殖の観察～
	東深沢中学校	公文 理斗	自家製酵母について
サイエンス賞 (優秀賞)	駒留中学校	井口 晴琉	パスタブリッジで強い構造を考える
	瀬田中学校	清水 祐輔	どうしたら長距離を速く走ることができるのか



☎ 教育研究・研修課 ☎ 6453-1503 FAX 6453-1534

新教育委員就任のお知らせ

令和3年12月10日付けで、鈴木奈保子氏が教育委員に就任されました。



編集後記

世田谷区と川場村の縁組協定が締結されてから40周年を迎えたことを記念し、川場村の外山村長にインタビューをさせていただきました。編集担当は世田谷出身で小学校の移動教室以来の川場村への訪問となりました。外山村長のお話を伺い、自身が楽しんで移動教室が多くの方々を支えられて成り立っていたことを知り、更に世田谷と川場とのつながりを深めたいと思いました。

多言語対応の電子書籍(デジタルブック)で配信をしています。

電子書籍(デジタルブック)「カタログポケット」内で、日本語から9カ国語への自動翻訳・音声読み上げ機能により、「せたがやの教育」を多言語で読む・聞くことができます。

二次元コードよりアプリをインストールするか、ブラウザ版でご覧ください。



次号115号は令和4年7月に発行予定です。お楽しみに!

川場村長への
特別インタビュー

外山 京太郎 さん

令和3年度、世田谷区と川場村の「区民健康村相互協力に関する協定（縁組協定）」が締結されてから40周年を迎えたことを記念し、特別インタビューとして、川場村長の外山京太郎さんに、世田谷区の小学5年生の川場移動教室や、川場村でできる自然体験のすばらしさについてお話を伺いました。

世田谷の子どもたちの元気な声は、
川場村民にとっても元気のもとです

世田谷区と川場村の交流が続いてきた中で、お感じになられることをお聞かせください。

私が、地元の高校を卒業して、川場村の森林組合に入ったのが昭和57年、世田谷と川場村が縁組協定を結んだ次の年です。移動教室も始まるということで、なかのビレジは浅松山、ふじやまビレジは鉱石山に登るということになっていました。その登山コースの考案を森林組合が依頼をされて、14~15人の区職員の方と学校の先生とで道なき道を歩き、コースの開設をしたことが良い思い出です。

こうして世田谷と川場村の交流が始まったときから、関わってきており、いろいろな場面で世田谷の子どもたちと触れ合う機会は多かったです。

移動教室などで川場村を訪れる世田谷の子どもたちにはどのようなことを感じてほしいですか。

川場移動教室は、今年度は1泊2日で行いましたが、新型コロナウイルスが終息すれば、また2泊3日に戻るのだと思いま

す。3日間を有効に過ごす中で、川場村に四季を通した自然があるわけですから、子どもたちが川場の自然に触れあってもらえるのが一番いいかなと思っています。

川場村での自然体験は、子どもたちの成長にどのような影響を与えるとお考えでしょうか。

小学校5年生が一番多感な時期で、その時に川場に来たということは、大人になってからも、ずっと思い出に残っているといます。飯盒炊さん、山登りを体験して、夜はキャンプファイヤーを行い、最終日にはふじやまビレジ、なかのビレジから田園プラザまで歩くというコースが多いと思います。以前、太田龍之介さんという方が、5年生の移動教室で川場にきました。彼はなかのビレジに泊まって、宮田さんというリンゴ農家のお宅で話を聞きました。そして、夏と冬に4泊5日の自然教室に参加しました。子どもの頃に川場の魅力に触れて、それが縁でいまは川場に移住してきて、リンゴ農家になったんです。それはまさに小学校5年生の体験があったからこそです。そして、このような子どもが2人、3人と増えてくれればと思います。

近年は親子ともに小学校の時に川場の移動教室を経験したことがあるという方も増えています。それについては、どうお感じですか。

道の駅田園プラザは、日々進化を遂げていますが、そこから見える風景は、35年前とそれほど変わってはいません。田んぼには稲があって、その向こうの畑にはリンゴ

があり、こんにゃくがあり、ぶどうがあり、そして山があります。そういった景観が35年ずっと保たれているというのが、川場の貴重価値だと思います。だからお父さんお母さんが子どものときに見た風景がそんなに変わっていないと感じてもらうのが川場の大切なことではないかと思っています。

コロナ禍を過ごす子どもたちについて、お考えをお聞かせください。

コロナ禍によってこの2年間、皆が本当に苦しんでいるのですが、特に子どもたちは運動会が縮小されたり、修学旅行に行けなかったり、通常ならできたことが、このコロナ禍でできなくなっていました。人と一番接したい多感な時期に、「人と接してはだめだ！」という話ですから、これは大変なことだと思っています。

表情がわからない、顔がわからないという生活からコロナが早く落ち着いてマスクを取った生活に戻ればいいなと思っています。マスクを取って、校庭や体育館で遊び、世田谷区の子どものために川場の自然を感じて2泊3日を過ごしてほしいなと思っています。

移動教室の帰る日には子どもたちが元気な声で、ふじやまビレジ、なかのビレジから田園プラザまで歩いてくるわけですよ。そういう子どもたちの元気な声というのは、村民にとっても元気のもとですから、この移動教室はずっと長く続けてもらいたいと思っています。

